授業科目(ナンバリング)	精神保健福祉の理論と相談援助の展開ⅡB (DB423)			担当教員	丸山 貴志		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	4年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
この授業の目的は、精神障害者福祉の理念と精神障害者の人権、精神保健福祉の歴史と理念、精神科ソーシャルワークの歴史について学び、精神障害者が地域で主体的に生活するための具体的実践の方法を知り行うことができるようになることにある。また、ディプロマポリシーにある社会の課題に対する思考力、判断力、表現力を活用し、主体的に問題解決を行う力を養成するために、授業は、ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションによって展開する。そのなかで、学生が精神科ソーシャルワークの知識・技術を、自分の言葉で説明し、他者が理解できる表現の仕方について具体的に学ぶことも重視する。							①⑤⑥⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	精神保健福祉士養成課程の全プログラムを終えて、精神保健福祉士の専門性と倫理について説明することができる。				レポート	45%	
情報収集、分析力	精神障害者の歴史と動向に関する資料を集め、現場における課題について適切に指摘することができる。				レポート	15%	
コミュニケーション力	授業内で自分の意見を適切に伝えることができる。				ディスカッション内容	10%	
協働・課題解決力	精神障害者の人権について、グループで報告することができる。				グループ発表	15%	
多様性理解力	精神科ソーシャルワークのアプローチについて説明することができる。				レポート	15%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
定期試験は45%で、精神保健福祉士の専門性と倫理について、精神保健福祉士の養成課程の全プログラムに基づいて、自らの意見を正確に説明することができるかを評価する。レポート(30%)では、精神保健福祉の歴史、および精神科ソーシャルワークのアプローチについて説明することができるかを評価する。レポート課題は、第9回の授業内で提示し、ポートフォリオにて提出する。さらに、グループ発表15%、ディスカッション内容10%で評価する。すべての提出物は、次回の授業内およびポートフォリオにてフィードバックを行う。							
授業の概要							
精神障害者福祉の理念と精神障害者の人権、精神保健福祉の歴史と理念、精神科ソーシャルワークの歴史などについて概説する。授業では、学生には意見を求めたり、議論してもらったり、またグループワークを活用しながら、授業内容の理解を深める。この授業は、精神保健福祉士養成課程の集大成であるため、全プログラムを総括しながら、展開する。担当教員は、精神保健福祉士として医療機関の精神科で医療相談やソーシャルワークなどで実務経験があり、その経験に基づき授業を展開する。また、厚生労働省が定める「精神保健福祉士養成施設等の設置及び運営に係る指針」において、実務経験を有する教員に関して「精神保健福祉士の資格を取得した後、相談援助の業務に5年以上従事した経験を有する者」と規定されており、担当教員は該当する。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。							
教科書・参考書							
教科書：日本精神保健福祉士養成校協会編「精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ(第2版)」中央法規出版 参考書：授業内で適時指示する。 指定図書：チャールズ・A・ラップ「ストレングスモデル」田中英樹監訳、金剛出版							
授業外における学修及び学生に期待すること							
授業内で、次回までの予習・復習を提示する。指定された内容を実施してくること。 出席は最低限のルールとする。 授業内での居眠りや私語、携帯電話の無断使用などは厳禁とする。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション 地域を基盤にした相談援助 の主体と対象①	授業の概要、進め方、評価等を確認 精神障害者を取り巻く社会的状況、地域相談援助の 主体、対象、体制について説明する	予習：テキスト 172-183 を読 んでくる。 復習：授業の内容をまとめる。
2	地域を基盤にした相談援助 の主体と対象②	事例による地域を基盤とした相談援助活動の検討 をおこなう	予習：テキスト 184-195 を読 んでくる。 復習：授業の内容をまとめる。
3	地域を基盤にしたリハビリ テーションの基本的考え方 ①	地域ネットワークについて説明する	予習：テキスト 198-205 を読 んでくる。 復習：授業の内容をまとめ る。
4	地域を基盤にしたリハビリ テーションの基本的考え方 ②	アウトリーチ、地域生活支援事業と訪問援助につい て説明する	予習：テキスト 206-224 を読 んでくる。 復習：授業の内容をまとめる。
5	地域を基盤にしたリハビリ テーションの基本的考え方 ③	セルフヘルプグループおよび家族会について説明 する	予習：テキスト 225-237 を読 んでくる。 復習：授業の内容をまとめる。
6	地域を基盤にしたリハビリ テーションの基本的考え方 ④	精神保健福祉ボランティアの育成と活用について 説明する	予習：テキスト 238-244 を読 んでくる。 復習：授業の内容をまとめる。
7	精神障害者のケアマネジメ ント①	ケアマネジメントの原則について説明する	予習：テキスト 246-254 を読 んでくる。 復習：授業の内容をまとめる。
8	精神障害者のケアマネジメ ント②	ケアマネジメントの意義と方法について説明する	予習：テキスト 255-269 を読 んでくる。 復習：授業の内容をまとめる。
9	精神障害者のケアマネジメ ント③	ケアマネジメントの展開過程について説明する レポート課題の提示	予習：テキスト 270-278 を読 んでくる。 復習：授業の内容をまとめる。
10	精神障害者のケアマネジメ ント④	チームケアとチームワークについて説明する 事例による精神障害者ケアマネジメントの検討を おこなう	予習：テキスト 279-294 を読 んでくる。 復習：授業の内容をまとめる。
11	地域を基盤にした支援とネ ットワーキング①	地域を基盤にした支援の概念と基本的性格について 説明する 地域アセスメントについて説明する	予習：テキスト 296-309 を読 んでくる。 復習：授業の内容をまとめる。
12	地域を基盤にした支援とネ ットワーキング②	地域を基盤にした支援の具体的展開について説明 する	予習：テキスト 310-322 を読 んでくる。 復習：授業の内容をまとめる。
13	地域を基盤にした支援とネ ットワーキング③	事例による地域を基盤にした支援の検討をおこな う	予習：テキスト 323-335 を読 んでくる。 復習：授業の内容をまとめる。
14	地域生活を支援する包括的 支援の意義と展開	包括的な支援の意義と展開について説明する 事例による地域生活を支援する包括的な取組みを検 討する レポートの提出期限	予習：テキスト 338-355 を読 んでくる。 復習：授業の内容をまとめる。
15	まとめ	後期の振り返り	予習：テキストの後期分を読 んでくる。 復習：授業の内容をまとめる。
16	定期試験		